

HP・SNSで情報発信中!

<https://uesada.com/>



松江市長

上定昭仁

REPORT

2021 → 2025

# 松江が動き出しています!



皆様のご支援のお陰で、2021年4月に松江市長に就任させていただいてから、およそ4年が経ちました。この間、温かい激励と市政へのご協力を頂戴しましたことに、心より感謝申し上げます。これまで4年間の成果・実績を振り返り、目下進めている取組みを整理しました。皆様には、引き続き率直なご意見やご提案をお聞かせいただけますと幸いです。

## まとめ SUMMARY

### 「MATSUE DREAMS 2030」策定

2022年3月に、2030年の松江がめざす姿をまとめた松江市総合計画「MATSUE DREAMS 2030」を策定しました。「夢を実現できるまち 誇れるまち 松江」をめざし、力強く取組みを推進しています。



市役所の組織改革

理事（政策部長）、環境エネルギー部、文化スポーツ部、こども子育て部、まちづくり部、SDGs推進課、デジタル戦略課、市長公室、広報課、新産業創造課、文化振興課、埋蔵文化財調査課、保育所幼稚園課、こども家庭支援課などを新設しました。市役所が一丸となって取り組む体制を築き、総合力・機動力を高めています。



「ふらっと縁カフェ」など  
市民の皆様との意見交換

私が直接市民の皆様と意見交換する「ふらっと縁（えん）カフェ」をスタートし、これまでに8回開催しています。町内会・公民館・NPO・企業・大学生などがともに地域課題の解決策を考える「まちづくりを考える日」と「まちづくりでつながる日」を計7回開催するなど、市民の皆様の声をお聴きして市政運営に反映しています。



ホームページリニューアル・  
SNSでの情報発信

2023年2月に、松江市のホームページを刷新して、出産・転入などライフイベントごとに必要な手続きをお知らせする「手続きナビ」など便利な機能を導入しました。2024年1月には、市公式LINEもオープンしています。X(旧Twitter)のフォロワー数は、市長就任時の1,500件から現在8,000件へと増加しています。

# TIMELINE

2021→2025



2021.04  
**松江市長  
就任**

2021.10  
市立学校への  
タブレット端末・電子黒板の配備  
**児童  
& 生徒 1人1台**  
タブレット端末配備完了  
□□□□□

P.11 ▶

2021.07  
令和3年夏豪雨  
災害対応

P.06 ▶

2022.02  
島根原子力発電所  
2号機再稼働  
への同意

P.10 ▶

2022.10  
エネルギー価格・  
物価高騰対策  
水道料金 **2ヶ月減免**

P.06 ▶

2023.04  
新しい公共交通  
AIデマンドバス  
まつえのるーと  
運行 **START**

P.07 ▶

2023.01  
MATSUE  
起業エコシステム構築  
産官学 **19団体**  
による  
コンソーシアム  
**設立**

P.08 ▶

2023.05  
松江市役所  
新庁舎第1期棟  
**OPEN**  
2025年秋全館完成をめざして  
整備進行中

P.07 ▶

2023.04  
こども家庭  
センター  
設置

P.11 ▶

2023.06  
まつえ土曜夜市  
**復活開催**

P.07 ▶

2024.04  
堀川遊覧船  
電動化・  
一般乗船開始

P.10 ▶

2024.04  
中学生までの  
**医療費  
無料化**

P.11 ▶

2024.10  
カラコロ工房  
リニューアル  
オープン

P.08 ▶

# MATSUE DREAMS 2030

P.03 ▶  
P.14-15 ▶



安心して暮らせる  
松江を築き  
市民の生活を守ります

RESULT 01  
物価高騰対策・コロナ感染・災害



■ 新型コロナウイルス感染症対策

感染者への対応やワクチン接種の普及に向けて、松江保健所などの体制を強化するとともに、感染防止と社会経済活動を両立するため、とりわけ児童・生徒の学習機会を確保するべく、きめ細やかな対応に努めました。



■ エネルギー価格・物価高騰対策

長引くコロナ禍やウクライナ情勢を踏まえた物価高騰に対して、国の交付金支給などを滞りなく実行するとともに、松江市独自に水道料金を2ヶ月分減免して市民生活の負担軽減を図るなど、臨機応変に対応しました。



■ 令和3年夏豪雨災害への対応

意宇川に氾濫の恐れが生じたため、初めての「警戒レベル5(緊急安全確保)」の避難指示を発令しました。避難所開設や情報共有にあたり、被災箇所の迅速な復旧に取り組みました。



■ 災害に強い「中海・宍道湖8の字ルート」の整備

中海・宍道湖圏域を結ぶ高規格道路の整備実現に向けて、2023年8月、官民一体となった推進組織を立ち上げました。企業立地、物流、観光周遊が促され、災害時に不可欠な避難路や物資輸送路となる「8の字ルート」の早期整備に努めてまいります。

利便性の高い  
活気あるまちを  
創ります

RESULT 02  
まちづくり・交通



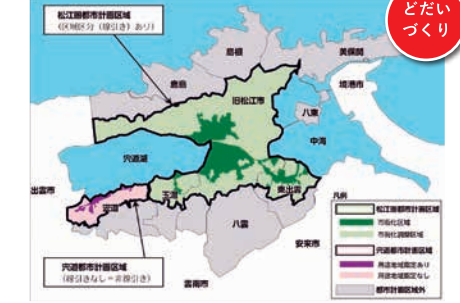
■ 松江駅前デザインの策定

JR松江駅前の機能を強化し、市民の皆様が愛着を感じられる「山陰の玄関口」として生まれ変わるために、「松江駅前デザイン」を取りまとめています。一畑百貨店跡地の有効活用を含め、商業・交流・交通の拠点制を高める再開発を実行してまいります。



■ 歴史的な景観の保全

国宝松江城周辺の歴史・文化的なまちなみを守るため、2025年1月、建築物の新規計画にかかる事前協議制度を導入しました。今後、景観規制の見直しを行い、保全と開発とのバランスを保ちながら、「松江らしい景観」の創出を図ります。



■ 「チャレンジできる」  
土地利用制度への見直し

2023年2月に、1970年に導入された現行の土地利用規制(いわゆる「線引き制度」)を廃止する方針を公表しました。秩序を保ちながら新たなチャレンジができる新制度について、2026年度の施行をめざして検討を進めます。



■ AIデマンドバス  
「まつえのるーと」の導入

2023年4月に八東地区、2024年4月に大野・秋鹿地区、同年10月に八雲・忌部地区と宍道地区に、AI(人工知能)を使った新たな公共交通「まつえのるーと」の運行を開始しました。「だれもが安心して、やさしく移動できるまち」をめざします。



■ 市役所新庁舎・  
だんだんテラスオープン

2023年5月に、新庁舎第1期棟をオープンし、「書なくて済む窓口」や待ち時間の電光掲示などにより利便性を高めています。宍道湖を一望できる「だんだんテラス」では、2024年12月末時点192件のイベントを開催しています。2026年春の全館完成に向けて、着実に工事を進めます。



■ 「まつえ土曜夜市」の復活

2023年6月、およそ30年ぶりに白濁・天神エリアで「土曜夜市」が復活しました。同年は計5回で延べ8万人を超える皆様にお出掛けいただきました。2024年は5月・8月・9月に開催し、約90店の屋台・出店・キッチンカーが軒を連ねました。松江商工会議所や地元商店街とともに、にぎわいづくりに取り組みます。

地域とともに  
ユニークな産業の発展を  
導きます

# 産業振興

RESULT 03



## 職人商店街の形成

2023年2月の「八雲塗やま本」を皮切りに、「彩雲堂」「そば処・玄」「魚一」(松江松平そば)「湖鳥」(ジュエリー工房)「しらかたBASE」(カフェ・青果)が相次いでリニューアルオープンしました。「匠の技」を見て体験して楽しめる「ものづくり体験型商店街」の形成が進んでいます。



## カラコロ工房のリニューアル

2000年に旧日本銀行松江支店を改築して開館した「カラコロ工房」が、2024年10月、地元産品を取り揃えたマルシェ、職人技を体感できるものづくり体験スペース、文化・歴史の学びの場などを備えたにぎわいの拠点として生まれ変わりました。



## 「MATSUE起業エコシステム」の構築

2023年1月、市内の産官学金が一体となって起業・創業を支援する「MATSUE起業エコシステムコンソーシアム」を立ち上げました。だれでも気軽に参加できるコミュニティ「MIX」や、民間事業者によるビジネスプランコンテストなどを介して、起業家精神の醸成を図ってまいります。



## 「松江式ワーケーション」の普及

松江の風光明媚な自然環境の下で、オンラインにより効率的に仕事をこなすとともに、松江市民との対話によりわが国が抱える社会課題の解決をめざす「松江式ワーケーション」に取り組んでいます。2022年6月には、IT大手の富士通と協定を締結し、定期的に社員を受け入れています。



## 第一次産品の高付加価値化

「松江ならではの」特産品開発に向けて取り組んでいます。アワビの陸上養殖の商業化をめざして青木あすなろ建設・玉川大学と提携するとともに、干し柿糖を使った和菓子の販売、皮が薄く糖度の高いカボチャを用いた新商品の生産などを支援しています。



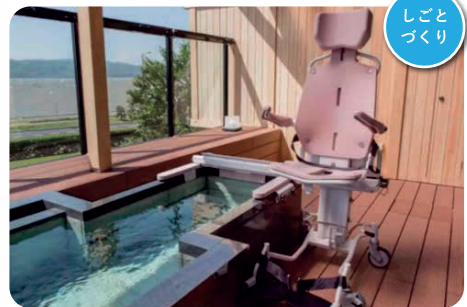
## 新工業団地の造成

松江だんだん道路・川津インターチェンジから至近の中尾地区に、約7ヘクタールの工業団地を造成します。2027年度中の分譲開始をめざして用地取得や造成工事を進め、民間企業の立地ニーズに対応し、雇用の創出を図ります。

心に残る感動体験が  
松江にあることを共有し  
発信します

# 観光振興

RESULT 04



## 中国地方初の宿泊税導入

「松江市新たな観光財源検討委員会」で議論を重ね、2024年11月議会で、宿泊税導入にかかる条例が議決されました。2025年度中に運用を開始して、宿泊者の利便性向上につながる、観光推進組織の機能強化、キャッシュレス決済の普及、多言語対応などに活用してまいります。



## 持続可能な「松江水郷祭」の構築

2023年8月の水郷祭では、打ち上げ台船を倍増して西日本最大級の2万発を打ち上げるとともに、有料観覧席を確保・拡充して採算性を向上させ、持続可能なモデルの構築を図りました。2024年8月には、初のドローンショーを実施し、過去最多の68万人(2日間推計)を集客しました。



## NHK朝ドラ「ばけばけ」制作開始

ドラマ化に向けた地元応援団の結成やNHKへの要望活動が実を結び、2025年10月から、小泉八雲の妻セツをモデルにしたNHKの連続テレビ小説「ばけばけ」の放映が決まりました。松江の魅力を国内外に発信する好機にしてまいります。なお、2023年秋に放送されたTBSドラマ「VIVANT」では、島根県庁前、本庄小学校、旧大谷小学校がロケ地となりました。



## 海外との連携強化による圏域の発展

2022年10月、中海・宍道湖・大山圏域と台北市との間で連携協定を締結しました。2025年には、インド・ケララ州との交流促進のための覚書を更新する予定です。そのほか、友好都市である中国の杭州市・吉林市、韓国の晋州市を訪ねて市長や市議会議長と面会し、青少年交流を促進するなどしています。

## 台湾サイクリストの誘致

2024年4月・6月に、世界最大手の自転車メーカーGIANTの旅行代理店の企画による自転車旅行ツアーを誘致し、台湾のサイクリストを迎えました。海外サイクリストへの訴求を念頭に、中海・宍道湖・大山圏域におけるツアーの造成や、「中国やまなみ街道」を活用したコースの設定などを進めます。



「環境首都まつえ」が  
持続可能な地域社会を  
育みます

環境・エネルギー

RESULT 05



どだい  
づくり

「SDGs未来都市」  
「脱炭素先行地域」への選定

2023年4月に、環境省による「脱炭素先行地域」に、同年5月には、内閣府による「SDGs未来都市」に選定されました。これにより国からのサポートを受けて、宍道湖や日本海で海藻を育てることで二酸化炭素を吸収する「ブルーカーボン」などに取り組んでいます。



どだい  
づくり

堀川遊覧船の電動化

大手自動車メーカー・ホンダとの協働により、松江城を囲む堀川を巡る遊覧船を電動化し、2024年4月に一般乗船を開始しました。二酸化炭素を排出しない画期的な水上交通の誕生を契機に、「環境主都まつえ」の実現に向けた取り組みを推進します。



どだい  
づくり

市民参加による  
リサイクルの推進

HOYAアイケアカンパニー、パイロットコーポレーション、バンダイナムコグループと連携し、使い捨てコンタクトレンズの空ケース、ボールペンなどの文房具、プラモデルのプラスチック枠(ランナー)を回収するプロジェクトを継続しています。市役所、総合体育館、イオン松江店に回収ボックスを設置しています。



しごと  
づくり

ガス事業の民営化

2024年4月に「松江市ガス事業譲渡先選定委員会」を設置し、同年10月から事業者の公募を開始しました。2026年4月の松江市ガス局民営化をめざします。民間企業の創意工夫による柔軟なサービスの提供が可能になることで、お客様のニーズに応じた、ガス供給の安定化・充実化を図ってまいります。



どだい  
づくり

島根原子力発電所2号機再稼働への同意

2022年2月に、市民の安心・安全の確保を大前提として、エネルギーの安定供給による市民生活・企業活動の維持などのため、島根原子力発電所2号機の再稼働に同意しました。2024年12月の再稼働以降も、安心・安全が確実に確保されるよう、防災訓練の実施を含め十全に対応してまいります。

こどもたちの  
夢の実現と子育てを  
応援します

子育て・教育

RESULT 06



ひと  
づくり

中学生までの  
医療費無料化

子育てを応援するため、2024年4月から子ども医療費の助成範囲を拡充し、中学生までの入院・通院・調剤などにかかる医療費を完全無料化しました。さらに、2025年4月からは、島根県との連携の下、高校生世代(18歳まで)の医療費についても、従来の3割負担から軽減を図ります。



ひと  
づくり

「子育ての日」  
イベントの開催

2023年から11月19日(いいいくじの日)を本市の「子育ての日」と定めて、子どもと子育て世代が楽しめるファミリーイベントを開催しています。2024年は島根県立大学松江キャンパスで、「まつえっこ体操」、絵本読み聞かせ、動物ふれあい広場、謎解きクイズラリーなどを行い大盛況でした。



ひと  
づくり

「こども家庭センター」  
の設置

2023年4月に、すべての妊産婦・子育て世帯・子どもを支援するため、乃白町・保健福祉総合センターに「こども家庭センター」を新設しました。法律による努力義務化より1年早く相談窓口を設置・一本化した結果、2023年度の子育てや家庭に関する相談件数は前年度比2割、訪問・面談件数は9割増加しています。



ひと  
づくり

DXを活用した  
子育て支援の導入

「まつえのAI子育てコンシェルジュ」「保育所AI入所選考システム」「あずかるこちゃん(病児保育支援システム)」「母子モ(電子母子健康手帳)」など、DXを駆使した便利なサービスを導入し、子育て世代を力強く応援しています。



ひと  
づくり

小中学校での  
ICT活用教育の推進

2021年10月までに、児童・生徒1人1台のタブレット端末と、市立小・中・義務教育学校の全教室・理科室への電子黒板の配備を完了しました。2022年6月からは、電子ドリルを搭載した端末を自宅に持ち帰り、ICTを効果的に活用した学びを推進しています。



ひと  
づくり

子育てしやすいまち・  
中国地方第1位

2023年12月に公表された、日経新聞社・日経BP社による「共働き子育てしやすい街ランキング」において、本市が中国地方で第1位を獲得しました。DXを活用した子育て支援策などが高い評価を得ています。子育て世代の声を聞きながら、暮らしやすいまちを創ってまいります。



ひと  
づくり

プラバホール・中央図書館の  
リニューアル

1986年の開館以来初の大規模改修を経て、2024年4月、芸術文化活動の拠点として全館オープンしました。パイプオルガンをオーバーホール(分解修理)し、本市初のネーミングライツ(命名権)を付与しています。無料Wi-Fiを完備し、授乳室・屋外テラス・専用学習室・おはなしのへやを新設しました。

健康で笑顔あふれる  
まちを創ります

# 健康・福祉

RESULT 07



どだい  
づくり

## 「まつえっこ体操」の 制作・普及

2022年12月に、NHK「おかあさんといっしょ」の体操のお兄さん・佐藤弘道さんの監修により、健康寿命の延伸に資する体操を考案しました。市民の皆様から体操の動画を募集し公開しています。学校・職場・家庭などにおいて、気軽に楽しんでいただけるよう努めてまいります。



しごと  
づくり

## イクボス宣言

2021年8月に、市内事業者などとともに、働き方改革やワーク・ライフ・バランスの推進に資する「イクボス宣言」を行いました。父親目線や上司目線での子育て座談会を開催し、働きやすく暮らしやすい職場環境づくりに取り組んでいます。



ひと  
づくり

## 障がい者・失語症者 支援センターの設置

2022年4月に障がい者基幹相談支援センター「絆」を、同年12月に失語症者支援センターを設置しました。相談体制を強化して、支援を必要とされる皆様に寄り添ってまいります。



ひと  
づくり



## 手話言語条例 の制定

手話が「言語」であるとの認識に基づき、2024年12月に、手話への理解と普及に関する基本理念を定めた「手話言語条例」を制定しました。ろう者や難聴者など手話を必要とする人の意思疎通をサポートすることで、だれもが安心して生活できる「共生社会」を実現します。

9月23日「手話言語の国際デー」に松江城を手話普及のシンボルカラーのブルーにライトアップ



つながり  
づくり

## 島根スサノオマジックのホームアリーナ整備

2026年秋に開幕する新Bリーグ「Bプレミア」に参入する島根スサノオマジックのホームアリーナとして、松江市総合体育館の改修を進めています。5千人のスサマジブスターがホームゲームを楽しめるアリーナへとバージョンアップするとともに、社会体育施設や緊急避難所としての機能や拠点性を高めます。



# 『夢を実現できるまち 誇れるまち 松江』をめざし、動き続けます！

# 18のチャレンジ

<p><b>産業振興、起業・創業</b></p> <p>あの面白い企業、松江発って知ってる？</p> <p>Ruby City MATSUE プロジェクト2.0</p> <p>新しいビジネス創出を地域全体で支える「MATSUE起業エコシステム」を形成します</p> <p>創業数(新設法人数) <b>145社</b></p>	<p><b>観光振興</b></p> <p>世界中から松江に人が集まる</p> <p>自然や食を活かし、癒し・健康をテーマとする観光プログラムをつくります</p> <p>観光消費額 <b>750億円</b></p>	<p><b>共生社会・地域コミュニティ</b></p> <p>松江市民のモットーは「寛容」</p> <p>多文化共生社会を実現し、だれもが社会参加できる環境をつくります</p> <p>市民活動・地域活動への参画割合 <b>65%</b></p>	<p><b>歴史・伝統・文化・芸術</b></p> <p>まちそのものがアート</p> <p>松江で活動するアーティストや市民の創作活動を応援する環境をつくります</p> <p>松江の伝統文化芸術を誇りに思う市民の割合 <b>77%</b></p>	<p><b>自然・環境</b></p> <p>日本が誇る「環境主都まつえ」</p> <p>2050年のカーボンニュートラルに向けて、再生可能エネルギーの普及を促進します</p> <p>二酸化炭素排出量 <b>916千t-CO<sub>2</sub></b></p>	<p><b>安心・安全、社会資本整備</b></p> <p>「何があっても松江は大丈夫！」って思う</p> <p>市役所新庁舎に総合防災センターを設置します</p> <p>災害時の安心感を持つ市民の割合 <b>77%</b></p>
<p><b>商店街活性化</b></p> <p>こんなに面白い商店街って松江にしかない</p> <p>「非日常」体験、飲食、買い物を楽しむ、昼も夜も歩きたくなるまちをつくります</p> <p>中心市街地商店街の店舗利用率 <b>93.6%</b></p>	<p><b>ワーク・ライフ・バランス、子育て支援</b></p> <p>ここに生まれてよかった、ここで育ててよかった</p> <p>自然を生かした家族で楽しめる場所をつくります</p> <p>出生率 <b>2.22</b> 子育て支援策の満足度 <b>60%</b></p>	<p><b>人材育成・選抜</b></p> <p>最近、松江に引っ越してくる人が多い</p> <p>松江出身の学生を中心に地元企業との交流の場をつくります</p> <p>Uターン者数 年間 <b>1,230人</b></p>	<p><b>スポーツ</b></p> <p>スポーツが松江の存在感を高めた</p> <p>世代を問わずスポーツを楽しめる環境をつくります</p> <p>週1回以上スポーツに取り組んでいる市民の割合 <b>70%</b></p>	<p><b>都市デザイン(水辺・公共交通)</b></p> <p>世界の水都MATSUEが水辺と公共交通の概念を変えた</p> <p>宍道湖畔に子どもも大人も安心して遊ぶことができる親水空間を整備します</p> <p>中心市街地の水辺が利用しやすいと感じる市民の割合 <b>70%</b></p>	<p><b>行財政改革、スマート自治体</b></p> <p>市役所って、ほんと頼りになる</p> <p>行政手続きや暮らしの相談が、対面とオンラインが「ちょうどよく」選べる仕組みをつくります</p> <p>行政サービスの利便性に満足している市民の割合 <b>65%</b></p>
<p><b>農林水産業振興</b></p> <p>松江産の食材がスーパーに増えた</p> <p>地域産物を設立し、松江産物の認知度を高めます</p> <p>第一次産業の産出額 <b>102億円</b></p>	<p><b>教育</b></p> <p>夢は叶うって思う</p> <p>英語によるコミュニケーション力を育てます</p> <p>将来の夢や希望を持つ子どもの割合 小学生 <b>87%</b> 中学生 <b>72%</b></p>	<p><b>関係人口、副業・兼業人材</b></p> <p>松江推しは世界中にいる</p> <p>ワーケーションの魅力・利便性・拠点性を高め、都市部の企業にアピールします</p> <p>Uターン者数 年間 <b>1,230人</b></p>	<p><b>健康・医療</b></p> <p>歳を重ねるほど松江は楽しい</p> <p>「癒し」を予防医療や健康指導と組み合わせ、健康寿命の伸長を図ります</p> <p>健康寿命 女性 <b>21.6年</b> 男性 <b>18.4年</b></p>	<p><b>都市デザイン(まちなみ・公園)</b></p> <p>松江には歩きたくなるまちなみがある</p> <p>JR松江駅前の人々が集う「松江の顔」となる広場を整備します</p> <p>住みやすさを実感する市民の割合 <b>90%</b></p>	<p><b>広域連携</b></p> <p>宍道湖・中海を囲むエリアはひとつのまち</p> <p>中海・宍道湖・大山圏域5市の共通課題の解決に共同で取り組みます</p> <p>中海・宍道湖・大山圏域人口(2060年) <b>60万人</b></p>

総合計画は、「松江市総合計画条例」に基づく本市の最上位計画です。  
 【計画期間】 2022(令和4)年度～2029(令和11)年度 / 基本構想:8年 実施計画:3年(毎年見直し)

MATSUE DREAMS 2030



松江のチャレンジ公開中。 2030年「私」のチャレンジ

YOUR DREAM 2030

MATSUE DREAMS 2030

基本理念 | 松江のジダイをつくる

新しい《時代》を築く先駆者となり 古からのパトンを《次代》につなごう

総合計画 (MATSUE DREAMS 2030) に関するお問い合わせ | 松江市政策部政策企画課 Tel.0852-55-5173